



粹蕎だより

vol. 04

発行

2013年8月20日
 千葉県そば推進協議会
 事務局
 千葉市中央区道場北2-17-7
 (株)昭和広告社内
 TEL 043 (225) 4114

第18回 全日本素人そば打ち名人大会 関東予選 千葉大会 開かれる



5月19日千葉市中央区の「きぼーる」に於いて千葉県そば推進協議会・福井そばルネッサンス推進実行委員会の主催で第18回全日本素人そば打ち名人大会関東予選千葉大会が開催されました。

この日は朝から晴天に恵まれ初夏の風薫る会場には関東各地からそば打ちの強豪48名が集い、福井県で行われる本戦の出場権をかけて静かな熱戦が繰り広げられました。

今回出場の方々はレベルが平均的で突出された方が居なかったため審査の方は苦労さ

れたようでした。

その結果出場権を獲得された方は鈴木純子(さくら蕎麦の会)、川野辺豊子(鵜蕎麦の会)、桐生幸子(遊蕎塾)の三名でした。

大会終了後の総評で鵜飼審査委員長は「そば打ちは自然体で行うように」と語られ力みすぎを戒めておられました。

今回の大会では推進協の方の出場が少ないのが淋しかったのですが、推進協のメンバーでさくら蕎麦の会の鈴木さんが本戦で活躍されることを期待するものです。

又本大会運営に当たり推進協の方々の団結と機敏な行動が素晴らしいと多くの方から賛辞をいただきました。

審査員は次の方々です

鵜飼良平、加藤憲、板倉敏和、落合輝美、の四氏

聴覚障害者を対象とした 蕎麦打ち教室の開催

南房総そばの会 座間利夫



今年1月初め、館山市内で、手話サークルを開いている会長の村田さんより、聴覚障害者を対象に「蕎麦打ち教室」を開いてもらえないかと突然お電話がありました。

電話が入ったきっかけは、昨年9月館山市内で2泊3日で実施された「落合蕎麦打ち合宿」を見学に来ていた方からのご紹介ということでした。はたして出来るかと不安でしたので金子専務理事に相談したところ、手伝いに行くから、是非やってみて欲しいとのことで実施することになりました。

実施方法を具体的に打ち合わせをしたところ、10時から13時までで、蕎麦を打ち、食べるまでやりたい、人数は、聴覚障害者と説明役の手話サークルメンバーで20名「にはち」の蕎麦打ちをしたいとのことで、また、ここで悩みました。

金子専務理事に相談したところ、食べる蕎麦は、前日、座間が打ってきて、当日は金子さんの奥様と3人で各テーブルをまわりながら、教えていこうということになりました。

2月10日(日) 10時、参加者16名、館山市菜の花ホール、テーブル5台(1台は講師用)説明員の手話サークルメンバーは、各テーブルに1名ずつ着いていただき実施。初めに金子専務理事にデモ打ちをやってもらい、参加者に見てもらい、その後、各テーブルごとに実施しました。私が水まわしから説明しながら、それを手話サークルメンバーが各テーブルごとに障害者に説明し、さらに金子専務理事、奥様、私がそれぞれ、各テーブルを廻りながら実施しました。1テーブルに4名ずつでしたので、水回しをやっている人、のしている人、切っている人など、和気あいあいのもとに、全員おみやげ用(500グラム)を作ることが出来ました。

その後、前日、私が作った蕎麦を茹でて、また手話サークルメンバーが前日、作った野菜のてんぷらを添えて、皆で楽しく会食しました。

金子専務理事にはデモ打ちから、蕎麦の茹で方までやって頂き、奥様には、テーブルごとに丁寧に教えて頂き、ありがたうございました。参加者から、夕飯は、自分で打った蕎麦が食べられると、うれしそうに持ち帰ったのを見て、今回実施できたことが本当に良かったと思います。

山中湖の合宿そば打ち研修会

専務理事 金子 忠 靖

4月18日～20日山梨県の富士五湖の一つ山中湖の湖畔にある筑波大学研修センターに於いてそば打ちの合宿研修会が行われました。

これは茨城県のそば会「鶴合の衆」の落合輝美氏等が企画実施したもので今回は4回目になります。

参加者は福井、宮城、埼玉、茨城、栃木、神奈川、千葉などから47名が集まり本会からは17名が参加しました。

第1日目の午前中は参加各自が打ったそばが四つ出し終了の時点でいかに均一になっているか、麺体を四等分して形状、重量、厚さを測定し原因と対策の考察をしました。

午後からは木鉢作業、延しの作業、切の作業の三班に分かれ、他の方の練ったのを延し、他の方が延したのを切るといった練習方法を翌日まで続け、かなり疲れましたが、何か大きな仕事をなした後の喜びを味わいました。

四段受験者のための特別勉強会が開催されました

最終日は朝から地元の食生活改善グループの女性達30名にそば打ちの手ほどき、会場は笑顔と歓談の坩堝(くわぼ)となって素晴らしい最終日でした。

このそば打ち合宿は地元で深く定着した感があり、又各地から集まったソバ仲間とも親交を深めることも出来、「来年も会いましょう」と楽しく閉会しました。

新入会員のご紹介

今回、「成田そばの会」と「あけぼの蕎麦の会」が新たに入会致しました。

成田そばの会は下総高等学校で行われた地域学習会で行われたそば打ち教室に参加された方が集まり、この時指導された清宮高保氏を中心に、なつて平成23年に設立されたそば会です。

現在内藤一雄さんと清宮さんが両輪となって楽しくそば

8月3日、4日の二日間、千葉市花見川区の積橋地域交流館に於いて、四段受験希望者のための実技特別勉強会が行われました。

これは、例年館山の筑波大学研修センターで落合輝美氏を中心に行っています。そば打ちの合宿が、今年も研修所の都合で開催出来なくなりましたので、その代替えと

会を運営していますが、より広範囲の人たちと交流を深めたいと入会されました。

あけぼの山蕎麦の会は柏市あけぼの山農業公園平成19年に行われた市民そば打ち講座に集まった人たちが結成されたそば会です。現在会員は21名、柏市を拠点に活動していますがより多くの方々と交流を深めたいと本会に入会されました。

多くの仲間と楽しい団結。これが千葉県そば推進協議会です。



して推進協が協力する形で行ったものです。

本来の合宿ですと40名ぐらいの参加者があるのですが、今回は、会場の都合で定員を従来の半分にして、四段を受験希望される方に限らせて頂きました。

勉強会で使用した粉は特別に粗挽きものを挽いて頂き、そば粉1.4kg小麦粉0.1kgの計1.5kgと四段受験

の課題と同じ条件で設定。一人当たり7回打つことを目安に練習しました。

落合輝美さんがデモ打ちを二回行い、又、各自にきめ細で適切な指示、指導をしていただき有意な勉強会になりました。又打ったそばについては千葉市福祉協議会を通して、地元の福祉関係団体などに配布され皆さんに大変喜んで頂きました。

千葉県そば推進協議会は、地元千葉のみならず愛される蕎麦団体として確実な一歩を踏み出してゆきます。



平成24年度「四段位認定会書類審査」

受験希望者の推薦について

全麵協本部からの通知

日頃から、そばによる地域活性化にご尽力いただいております。全麵協の事業も皆様の御努力により順調に発展しております。段位認定者も9600人を超えるまでになりました。

さて、平成25年度「四段位認定会」は、9月22日、23日に「富山県南砺市利賀村」で、11月16日、17日に「埼玉県伊奈町」において開催する予定であります。四段位認定会書類審査申込には、四段位認定講習会の受講が修了していることが条件となっておりますので、本年度は7月13日から15日までの3日間「北海道砂川市」における「そば大学空知學舎講座」が開講され、この大学講座は認定講習会として認められますので、この修了者及び既に四段位認定講習会の受講を修了している人が、四段位認定講習会書類審査受験を申し込むことができることとなります。さらに、この受験申込には「実施基準」の規定により、全麵協A、B会員代表者の推薦が必要となります。この規定は、「四段位認定」は、そば打ち技術だけではなく、リーダーとしての指導力及び人間性、地域貢献実績の高低等が審査対象となるからであります。つきましては、「四段位認定会書類審査申込」の関係書類を持参された受験希望者については、貴職が下記事項を勘案して「推薦理由」を記入の上直接全麵協事務局宛に郵送されますようお願い申し上げます。

既に四段位認定講習会の受講を修了している人が、四段位認定会書類審査受験を申し込むことができることとなります。さらに、この受験申込には「実施基準」の規定により、全麵協A、B会員代表者の推薦が必要となります。この規定は、「四段位認定」は、そば打ち技術だけではなく、リーダーとしての指導力及び人間性、地域貢献実績の高低等が審査対象となるからであります。つきましては、「四段位認定会書類審査申込」の関係書類を持参された受験希望者については、貴職が下記事項を勘案して「推薦理由」を記入の上直接全麵協事務局宛に郵送されますようお願い申し上げます。

1 「四段位」書類審査について（推薦要領）

① 力量の目安（人物、実績、知識面）

「人間的にも優れており、手打ちそばの普及に貢献している実績を豊富に持つとともに都道府県を代表してそばに関する歴史・文化が紹介できます。」ことが目安とされており、四段位認定者は地域のリーダーとして活動が期待されており、真にこの期待される人物であるか否かを見定めて推薦していた

② 推薦の方法

受験希望者が持参した申込関係書類をお読みいただくとともに、上記の「力量の目安」に従い、別紙「推薦書」に団体名、お名前、推薦の理由を具体的に記入ください。推薦者が複数いる場合はできるだけ推薦順位をお付けください。なお、今回は推薦書は、別紙とし貴職に直接送付いたしますので、受験者には送付していませんので、推薦順位を付するか否かは受験者本人にはわからないようにいたしましたので念のため申し上げます。

だきたいのであります。なお、過去においては、自己の所属会員であるからということ、必ずしも適任でない者についても適任であると推薦し、四段位に認定後勝手気ままな行動されているという事例も散見されますので、慎重に調査して推薦されますようにお願い申し上げます。

① 力量の目安（人物、実績、知識面）

「人間的にも優れており、手打ちそばの普及に貢献している実績を豊富に持つとともに都道府県を代表してそばに関する歴史・文化が紹介できます。」ことが目安とされており、四段位認定者は地域のリーダーとして活動が期待されており、真にこの期待される人物であるか否かを見定めて推薦していただきたいのであります。なお、過去においては、自己の所属会員であるからということ、必ずしも適任でない者についても適任であると推薦し、四段位に認定後勝手気ままな行動されているという事例も散見されますので、慎重に調査して推薦されますようにお願い申し上げます。

② 推薦の方法

受験希望者が持参した申込関係書類をお読みいただくとともに、上記の「力量の目安」に従い、別紙「推薦書」に団体名、お名前、推薦の理由を具体的に記入ください。推薦者が複数いる場合はできるだけ推薦順位をお付けください。なお、今回は推薦書は、別紙とし貴職に直接送付いたしますので、受験者には送付していませんので、推薦順位を付するか否かは受験者本人にはわからないようにいたしましたので念のため申し上げます。

平成 25 年 7 月 15 日

全国麵類文化地域間推進協議会
A、B 会員 代表者各位

全国麵類文化地域間交流推進協議会
理事長 中谷 信一

平成 24 年度「四段位認定会書類審査」受験希望者の推薦について

日頃から、そばによる地域活性化にご尽力いただいております。全麵協の事業も皆様の御努力により順調に発展しております。段位認定者も9600人を超えるまでになりました。

さて、平成25年度「四段位認定会」は、9月22日、23日に「富山県南砺市利賀村」で、11月16日、17日に「埼玉県伊奈町」において開催する予定であります。四段位認定会書類審査申込には、四段位認定講習会の受講が修了していることが条件となっておりますので、本年度は7月13日から15日までの3日間「北海道砂川市」における「そば大学空知學舎講座」が開講され、この大学講座は認定講習会としての認められますので、この修了者及び既に四段位認定講習会の受講を修了している人が、四段位認定講習会書類審査受験を申し込むことができることとなります。さらに、この受験申込には「実施基準」の規定により、全麵協A、B会員代表者の推薦が必要となります。この規定は、「四段位認定」は、そば打ち技術だけではなく、リーダーとしての指導力及び人間性、地域貢献実績の高低等が審査対象となるからであります。つきましては、「四段位認定会書類審査申込」の関係書類を持参された受験希望者については、貴職が下記事項を勘案して「推薦理由」を記入の上直接全麵協事務局宛に郵送されますようお願い申し上げます。

記

1 「四段位」書類審査について(推薦要領)

① 力量の目安(人物、実績、知識面)

「人間的にも優れており、手打ちそばの普及に貢献している実績を豊富に持つとともに都道府県を代表してそばに関する歴史・文化が紹介できます。」ことが目安とされており、四段位認定者は地域のリーダーとして活動が期待されており、真にこの期待される人物であるか否かを見定めて推薦していただきたいのであります。なお、過去においては、自己の所属会員であるからということ、必ずしも適任でない者についても適任であると推薦し、四段位に認定後勝手気ままな行動されているという事例も散見されますので、慎重に調査して推薦されますようにお願い申し上げます。

② 推薦の方法

受験希望者が持参した申込関係書類をお読みいただくとともに、上記の「力量の目安」に従い、別紙「推薦書」に団体名、お名前、推薦の理由を具体的に記入ください。推薦者が複数いる場合はできるだけ推薦順位をお付けください。なお、今回は推薦書は、別紙とし貴職に直接送付いたしますので、受験者には送付していませんので、推薦順位を付するか否かは受験者本人にはわからないようにいたしましたので念のため申し上げます。

2 書類の郵送について

お手数ですが、貴職が推薦の理由を記入していただくこととなりますので関係書類は直接貴職から下記の全麵協事務局まで、8月1日(木)必着をお願いいたします。

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-4 麵業会館 5F
全国麵類文化地域間交流推進協議会事務局 (開閉、秋谷)
電話 03-3512-7112

3 その他

- 推薦者は、推薦した人が出場する認定会に、審査員として選考することができませんので念のため申し添えます。
- 昨年度の総会において「全国認定会実施細則」を制定が承認され、書類審査受験料2,000円を納入してもらうことといたしましたのでご承知置き下さい。

全麵協本部より事務局に届いた「四段位認定会書類審査」
受験希望者の推薦についての通知書全文